

1-07-01-16 高岡銅器問屋・喜多孫八文書

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
1	リエージュ万国博覧会銅メダル証状	1	1905年	58.0*75.2	Le President du Comite executif (執行委員会委員長) 等4名→喜多孫八。 全文仏文。Medaille de Bronze=銅メダル。 リエージュ万国博覧会は、1905年4月27日～11月6日にベルギーのリエージュで開催された。 大きな破れあり。
2	明治33年連合共進会六等褒賞授与証	1	明治33年 (1900)8月5日	37.6*48.2	農商務大臣正三位勲二等 曾禰荒助→高岡市横田町 喜多孫八。 菊彫銀瓶を出品。
3	凱旋紀念五二共進会有功銅牌賞状	1	明治39年 (1906)11月4日	48.6*36.0	凱旋紀念五二共進会総裁 正二位勲一等伯爵 松方正義→出品人 富山県 喜多孫八。 銅器各種を出品。
4	第9回関西府県連合共進会三等賞銅牌褒賞授与証	1	明治40年 (1907)5月20日	40.0*52.8	農商務大臣 従二位勲一等 松岡康毅→高岡市横田町 喜多孫八。 瓢形花生を出品。
5	東京勸業博覧会紀念褒状	1	明治40年 (1907)7月6日	46.6*60.6	東京勸業博覧会審査総長 審査総長 従二位勲一等男爵 曾禰荒助・東京府知事 正三位勲一等男爵 千家尊福→出品人 高岡市横田町 喜多孫八。 銅器各種を出品。
6	高岡市射水郡氷見郡西砺波郡工業品評会二等賞褒賞証	1	明治40年 (1907)11月7日	39.0*54.0	会長 高岡市長 従六位勲五等 松島喜五郎・総裁 富山県知事 正五位勲四等 川上親春→喜多孫八。 銅器各種を出品。
7	高岡市射水郡氷見郡西砺波郡工業品評会紀念状	1	明治40年 (1907)11月7日	38.6*53.6	会長 高岡市長 従六位勲五等 松島喜五郎→喜多孫八。
8	長野県主催一府十県連合共進会謝状	1	明治41年 (1908)11月5日	34.0*42.4	長野県主催一府十県連合共進会会長 長野県知事 従四位勲三等 大山綱昌→喜多孫八。 金属製品を参考出品。 破れ、シミあり。取扱注意。
9	愛知県主催第10回関西府県連合共進会三等賞銅牌賞状	1	明治43年 (1910)6月5日	40.2*53.2	農商務大臣 従三位勲二等 小松原英太郎→高岡市横田町 喜多孫八。 銅器を出品。
10	群馬県主催一府十四県連合共進会謝状	1	明治43年 (1910)11月19日	34.0*45.5	群馬県主催一府十四県連合共進会会長 群馬県知事 正五位勲四等 神山閏次→高岡市 喜多孫八。 竹形火鉢ほか11点を参考出品。 大きなシミ、破れあり。
11	裏日本鉄道全通新舞鶴港開港記念博覧会感謝状	1	大正12年 (1923)5月5日	39.3*54.4	審査総長 正五位勲四等 工學博士 中澤良夫・会長 新舞鶴町長 勲四等 山口俊一・総裁 京都府知事 正四位勲三等 池松時和→喜多孫八。 喜多孫八は製品を出品したが審査員でもあり、公平を期すため自作の審査を辞して審査員としての任を全うしたことへの感謝状。
12	東宮殿下御成婚奉祝万国博覧会参加五十年記念博覧会記念状	1	大正13年 (1924)5月5日	52.5*70.9	総裁 大勲位功四級 博恭王・副総裁 従二位勲一等男爵 平山成信・会長 京都市長 従三位勲二等 馬淵銃太郎→喜多孫八。 火鉢を出品。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
13	大連勸業博覧会褒状	1	大正14年 (1925)9月5日	38.0*52.4	大連勸業博覧会会長 大連市長 正四位勲三等 杉野耕三郎→喜多孫八。 銅器を出品。
14	銀婚式奉祝国産共進会銅牌褒賞状	1	大正14年 (1925)10月20日	44.0*59.2	銀婚式奉祝国産共進会会長 岐阜市長 正六位勲五等 松尾國松・総裁 岐阜県知事 正五位勲四等 白根竹介→喜多孫八。 藪ノ内柿象嵌を出品。 破れあり。
15	大牟田市政十年記念国産共進会三等賞銅牌褒賞之証状	1	大正15年 (1926)4月20日	37.9*52.6	総裁 福岡県知事 従四位勲三等 柴田善三郎・会長 大牟田市長 従四位勲四等 岩井敬太郎→喜多孫八。 達磨形扇流中磨火鉢を出品。
16	姫路商業会議所主催全国産業博覧会名誉金賞牌褒賞之証状	1	大正15年 (1926)5月6日	37.3*52.5	副会長 姫路商業会議所副会頭 今井茂次等5名→喜多孫八。 銅器を出品。
17	新潟築港記念博覧会出品記念状	1	大正15年(1926) 7月20日	27.5*36.6	新潟築港記念博覧会総裁 三松武夫・会長 中村淑人→喜多孫八。 銅器を出品。
18	第3回砺波物産品評会出品感謝状	1	昭和6年(1931) 7月27日	37.4*53.8	第3回砺波物産品評会副会長 富山県東砺波郡城端町長 勲七等 大岡小兵衛・会長 富山県工業会東砺波郡部会長勲七等 佐藤助九郎・総裁 富山県知事 正五位勲五等 鈴木敬一→喜多孫八。 寿老人置物を出品。
19	富山市主催日満産業大博覧会出品記念状	1	昭和11年(1936) 6月8日	37.6*53.6	富山市主催日満産業大博覧会会長 富山市市長 陸軍中將 正四位勲二等功五級 山崎定義等4名→高岡市 喜多孫八。 銅器を出品。
20	五二会富山県金属種部商議員囑託状	1	明治27年 (1894)8月22日	23.4*29.6	五二会富山県金属種部→喜多孫八。 五二会とは、織物、陶器、銅器、漆器、製紙と彫刻、敷物の伝統的輸出工業品7業者の団体。
21	富山県工芸品陳列場備品寄付につき礼状	1	明治27年 (1894)9月30日	22.7*30.8	富山県知事 正五位勲五等 徳久恆範→高岡市横田町平民 喜多孫八。 モグラモチ形香炉を寄付。
22	五二会富山県金属部評議員に特選につき督励状	1	明治27年 (1894)10月	23.1*61.7	印刷物。 前田正名→喜多孫八。
23	重要物産高岡銅器同業組合評議員当選に際し県知事認可につき告知状	1	明治39年 (1906)7月12日	26.9*36.8	重要物産高岡銅器同業組合→喜多孫八。 同年7月11日に認可を得たもの。
24	重要物産高岡銅器同業組合組長代理者第三番当選につき告知状	1	明治39年 (1906)8月4日	26.7*30.1	重要物産高岡銅器同業組合→喜多孫八。
25	皇太子殿下花瓶台覧につき記念状	1	明治42年 (1909)10月	27.7*39.1	富山県→高岡市金屋町 喜多孫八。 北陸行啓の際、富山県仮物産陳列場において台覧された。 賞状用の厚紙ではなく和紙。破れあり。
26	皇太子殿下銅器名刺皿御買上につき表彰状	1	明治42年 (1909)10月5日	30.1*41.8	富山県高岡市長 従六位勲五等 松島喜五郎→出品人 喜多孫八。 同年10月2日の高岡物産陳列場台覧の際のもの。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
27	御大典記念高岡物産共進 会評議員委嘱状	1	大正4年 (1915)10月15日	23.4*32.2	御大典記念高岡物産共進会会長 鳥山敬二郎 →喜多孫八。
28	皇太子殿下火鉢台覧につ き通知状	1	大正13年 (1924)11月10日	21.3*58.2	富山県→喜多孫八。 封筒あり(表墨書「喜多孫八殿」、裏墨書 「富山県」)。
29	多年重要物産高岡銅器同 業組合組長として功労多 大につき感謝状	1	昭和4年 (1929)10月	38.5*47.9	重要物産高岡銅器同業組合→喜多孫八。 銀盃1対が贈呈された。
30	木型「入山形に孫」	1		5.6*6.7* 高さ3.4	喜多孫八商店の屋号が陽刻された木型。
31	印章「孫」	1		印面1.1*1.1 長さ2.1	金属製の角印(陽刻)。金属の札(表「越 中／高岡」、裏「金屋町／喜多孫八」と陰 刻)が付いている。
32	印章「喜龍堂」	1		印面3.0*3.0 長さ5.8	木製の角印(陽刻)。 喜多孫八は明治19年(1886)に、華道におい て「喜龍齋遊甫」の華名を授かっている。
33	喜多孫八商店郵便はがき 綴	1	昭和期	17.8*9.0	葉書綴(23枚)。1枚ごとに切り離せる葉書 と、罫線の入った薄紙が1枚ずつ挟み込まれ て綴られている。表面に差出人「国産銅 器・火鉢瓶掛・花器各種及地銅卸商／高岡 市横田町 喜多孫八商店」が印刷されてい る。 資料保存のため、綴じ部分の針金を外して こよりに交換した。
34	喜多孫八商店電報頼信紙 綴	2		各21.4*14.2	発信人欄に「高岡市横田町喜多孫八商店」 と電話番号が印刷された電報依頼用紙綴。 表紙には、「電報用紙」または「電信用 紙」と手書きの文字がある。 どちらも複数枚使用済みである。 資料保存のため、表紙「電信用紙」綴は、 綴じ部分の針金を外してこよりに交換し た。
35	喜多孫八商店御注文受書 綴	1	昭和期	14.8*21.0	「高岡市横田町／国産銅器卸商 喜多孫八商 店」の店名が印刷された受注用紙綴。 最初の4枚は使用済みである。
36	喜多孫八商店請求書綴	1	昭和21年(1946)	17.9*26.0	「高岡市横田町／国産銅器卸商 喜多孫八商 店」の店名が印刷された請求書綴。 表紙には、「電報用紙」または「電信用 紙」と手書きの文字がある。 最初の15枚は使用済みである。 資料保存のため、綴じ部分の針金を外して こよりに交換した。
37	喜多孫八姉ちよ火葬認許 書	1	明治26年 (1893)7月15日	13.2*14.9	発行：高岡市役所。 高岡市横田町3709番地 平民 喜多孫八姉 ち よ(明治12年8月15日生)が死亡した際のも の。 ちよは孫八「姉」とあるが、栄次郎父の孫 八は天保11年生まれで、栄次郎(のちの孫 八)は明治8年生まれのため、明治12年生ま れのちよが姉との記載には疑問が残る。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
38	喜多孫八家戸籍謄本	1	昭和初期	27.8*19.9	用紙綴(4丁)。 戸主・孫八(栄次郎)等21名について記されているが、末尾に高岡市長印が無いため後欠か。 栄次郎(明治8年5月1日生)は、父孫八の隠居によって明治35年(1902)1月27日に戸主となり、同29日に孫八と改名している。本籍地は高岡市横田町3709番地。 本資料の年代は不明だが、1枚目は昭和4年12月に、4枚目は昭和5年2月に印刷された用紙を使用している。また、4枚目のみ書式がやや異なっている。
39	永森きよ戸籍抄本	1	昭和9年(1934)9月14日	27.7*39.6	きよ(高岡市金屋町30番地 喜多万右衛門三女。明治19年生)は孫八(栄次郎)弟・常吉の妻であったが、常吉と息子・娘2人に先立たれて実家へ戻り、大正8年に富山市衣服町の長森菊次郎と再婚している。
40	建物売券証	1	明治29年 (1896)3月7日	24.0*17.8	罫紙綴(2丁)。 売渡人:高岡市横田町3786番地 三辺六郎右衛門、買受人:同市横田町3710番地 喜多孫八、地主:同市袋町 平能五兵衛。 同年3月9日付で登記済印が捺されている。
41	建物売買証書正本	1	明治30年 (1897)2月3日	23.8*17.1	罫紙綴(3丁)。 売渡人:高岡市横田町3707番地 稲積政吉、買受人:喜多孫八、地主:同市木舟町36番地 菅野傳右衛門。 同日付で登記済印が捺されている。
42	建物売買証書正本	1	明治30年 (1897)9月11日	24.1*17.8	罫紙綴(3丁)。 売渡人:高岡市横田町3707番地 頭川善右衛門、買受人:同市横田町3709番地 喜多孫八、地主:同市木舟町36番地 菅野傳右衛門。 同日付で登記済印が捺されている。
43	家督相続ニ付登記申請	1	明治35年 (1902)3月10日	24.7*18.1	罫紙綴(2丁)。 高岡市横田町3709番地 家督相続人 喜多孫八→高岡区裁判所。 同年1月27日に家督相続。同町3774番地の宅地(37坪)と木造建屋1棟(延建坪26.5坪)を相続(物件価格45円)。同日付で登記済印が捺されている。
44	土地建物売渡約定証	1	明治36年(1903)頃	23.8*17.9	罫紙綴(2丁)。 高岡市檜物屋町31番地 鍋嶋伊蔵→喜多孫八。 400円のうち230円を受取。
45	土地建物売渡証	1	明治36年 (1903)7月25日	24.0*17.6	罫紙綴(3丁)。 高岡市檜物屋町31番地 鍋嶋伊蔵→高岡市横田町3709番地 喜多孫八。 No.44の残金を全て受け取った後に結んだ契約証書。同日付で登記済印が捺されている。
46	建物売渡證書	1	大正4年 (1915)12月23日	28.2*20.2	用紙綴(3丁)。 売主:高岡市横田町3730番地 高辻理七→買主:高岡市横田町3709番地 喜多孫八。 同日付で登記済印が捺されている。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
47	建物売渡約定証	1	大正6年(1917)3月29日	24.5*17.7	罫紙綴(3丁)。 売渡人:高岡市金屋町740番地 金森孫市→ 買受人:喜多孫八。
48	工場用地として土地貸借 契約証	1	大正8年(1912)6月21日	28.0*19.9	用紙綴(2丁)。 西砺波郡石動町小矢部47番地 中川平兵衛と 同町島分 北國製紙株式会社取締役 宮長成 の間に締結したもの。 中川は土地の「管理ニ掛ル」とあるため、 所有者ではないのかもしれない(No.51によ ると孫八の土地か)。
49	売買契約取交証書	1	昭和33年 (1958)10月11日	25.3*17.8	罫紙綴(4丁)。 売渡人:高岡市横田町80番地 喜多孫八、買 受人:同市横田町81番地 小谷憲二。
50	年貢米納升覚	1	大正8~14年 (1912~25)	12.3*18.3	横半帳(10丁)。 大正8~14年度の小作米の受取記録。
51	西砺波郡石動町字小矢部 村地内小作米帳	1	明治期カ	24.0*17.8	堅帳(9丁)。 表紙墨書「持主 喜多栄次郎」。 西砺波郡石動町字小矢部村地内14名の小作 地と小作料の書上。末尾に「米総計拾九石 九斗壺升参合四勺四才也」とある。
52	耕作田地受作証書	1	昭和7年(1932)4月30日	24.8*18.6	罫紙綴(9丁)。 西砺波郡石動町小矢部 野崎栄次郎等7名 (各人の署名以外は全て同一人物の筆によ る)→喜多孫八。 小作契約証書9点(7名分)。No.51と同じ小 矢部であり、同姓もみられる。No.51より年 代は新しいと思われるので、喜多家代々の 私有地と小作なのであろう。
53	横帳裏表紙「喜多商店」	1		12.7*34.6	綴外れ。
54	横半帳表紙「他国差引 帳」	1	明治34年 (1901)12月	13.6*18.5	綴外れ。 表紙押印「高岡市横田町／喜多商店」、裏 表紙墨書「富山県高岡市／喜多孫八」、押 印「高岡市横田町／喜多商店」あり。
55	□指引帳	1		12.9*18.6	横半帳(149丁)。 裏表紙墨書「釜屋□…□」。
56	万控帳	1	(近代)辰	12.7*18.0	横半帳(157丁)。 裏表紙墨書「喜多孫八」。
57	万控帳	1	大正元年 (1912)8月	12.6*17.8	横半帳(80丁)。 貸金や株取引とその返済の記録。喜多孫 平、塩崎利平、羽廣傳吉や高岡銀行、十二 銀行など多数。
58	集金帳	1	大正11年 (1922)カ	12.8*18.8	横半帳(53丁)。 貸米や貸金とその返済の記録。また、鉄く ずなどの買取の記述もある。
59	代金取立手形受払通帳	1	明治36年 (1903)12月7日 ~明治38年 (1905)10月10日	17.1*42.8	株式会社十二銀行高岡支店→喜多孫八。 「第十八号」。
60	払込金領収証	1	明治44年 (1911)9月7日~ 大正10年 (1921)1月7日	17.3*57.7	交信会→喜多孫八。 「第二号」。毎月7日に10円を払い込んでい る。 裂けがひどいため取扱注意。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
61	代金取立受払通帳	1	昭和12年 (1937)12月22日 ～同15年 (1940)6月29日	12.6*17.3	横半帳(13丁)。 株式会社高岡銀行横田支店→喜多孫八。 「其之弐(7)」。東京、大阪、金沢、富山の各社の株の配当金。
62	特別当座預金通帳	1	昭和15年(1940)	16.1*10.5	冊子(16頁)。 株式会社高岡銀行横田支店→喜多孫八。
63	肥料本帳	1	明治30年 (1897)10月	13.0*17.8	横半帳(33丁)。 裏表紙墨書「合資会社／喜多孫八／同 孫平／金森平右衛門」。 肥料(胴鯨)商売の帳簿。胴鯨は、鯨から内臓やエラ、数の子などを取り除き、乾燥した後に包丁で背側の身と背骨に分け、背側の身が身欠(みがき)鯨となり、残った方が胴鯨という肥料になった。 会社の部持割は孫八が4歩、孫兵衛(孫平)が2歩、平右衛門が4歩。
64	高岡銅器鉄道運搬につき契約書	1	明治34年 (1901)3月28日	28.0*20.0	罫紙綴(5丁)。 高岡市盤若覚兵衛他7名と高岡駅前高岡運輸合資会社社長 佐野佐吉の間で締結したもの。
65	水質検査成績書	1	明治39年 (1906)8月6日	19.6*27.1	高岡市役所→高岡市横田町3709番地 喜多孫八。 掘抜井戸水の検査で、判決は「飲用ニ適ス」。水質検査員は、薬学得業士 新 次郎(私立高岡診療院薬剤員)と、薬学得業士 棚田佐吉(棚田薬局薬剤員)。
66	電報送達紙	1	明治40年 (1907)11月6日	24.1*17.0	受信人：北久宝寺町(現大阪市中央区)1丁目クロダサブロウ方 喜多孫八。 私報。高岡局発。「大阪心斎橋」局着印押印あり。「デンミタヲカモトデマタコン」。 破れあり。
67	電報送達紙	1	明治40年 (1907)11月7日	24.1*17.0	受信人：北久宝寺町1丁目クロダサブロウ方 喜多孫八。 私報。高岡局発。「大阪心斎橋」局着印押印あり。「ミナキカイモノハカリ(皆キカイ物ばかり)」。
68	電報送達紙	1	明治40年 (1907)12月15日	24.1*17.0	ニツタ→高岡金屋町 ヲケヤヤサエモン。 私報。難波局発。「高岡」局着印押印あり。「コンニチツム(今日積む)」。
69	大谷本願寺本尊宮殿塗箔見積書	1	明治44年 (1911)2月4日	24.2*18.1	罫紙綴(3丁)。 高岡市三番町9番地 廣上徳平→喜多孫八。
70	横田横町国民貯蓄組合保険料領収帳	1	昭和19年 (1944)8月7日～ 昭和22年 (1947)7月15日	17.6*23.8	横田横町国民貯蓄組合(保険院)→喜多孫八。 保険料額月4円。全てに「高岡局集金人」印の押印あり。
71	高岡市貧民へ金施与につき感謝状	1	明治23年 (1890)11月20日	22.8*30.9	富山県知事 従四位勲三等 森山茂→高岡市大字横田村 平民 喜多孫八。 2円を寄付。同年6月7日には米価騰貴のため高岡市内の窮民400人が商家に押しかけている。
72	日清戦争軍人家族救済として金施与につき感謝状	1	明治29年 (1896)2月28日	22.8*30.9	富山県知事 正五位勲四等 徳久恒範→高岡市横田町 喜多孫八。 2円を寄付。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
73	日本赤十字社正社員辞令	1	明治30年 (1897)3月9日	21. 2*30. 4	日本赤十字社総裁 大勲位功二級 彰仁親王・社長 従二位勲一等伯爵 佐野常民→喜多栄次郎。
74	日本赤十字社特別社員章	1	明治30年(1897) 以降カ	7. 5*3. 7	裏面に「明治二十一年／日本赤十字社」と陽刻あり。 略綬あり。黒漆塗箱付属（金箔押「日本赤十字社／特別社員章」。接合部破損）。同社は明治20年(1887)頃に特別社員制度を創設した。栄次郎は明治30年(1897)に正社員になっているため（No.73）、それ以降のものであろう。
75	日本赤十字社特別社員章	1	明治30年(1897) 以降カ	7. 5*3. 8	No.74と同一のものだが、綬の前面の丸い飾りが無い。略綬、黒漆塗箱もなし。
76	高岡市火災窮民に金施与につき感謝状	1	明治34年 (1901)5月3日	22. 8*30. 9	富山県知事 正五位勲五等 檜垣直右→高岡市横田町 喜多孫八。 3円を寄付。前年6月27日に3,589戸焼失、死者53人を出した高岡大火が発生している。
77	愛国婦人会通常会員辞令	1	明治37年 (1904)6月30日	21. 8*30. 1	愛国婦人会総裁 載仁親王妃勲一等 智恵子・会長 公爵夫人 岩倉久子→喜多ぬい。 ぬい（文久3年生）は孫八（栄次郎）の姉。
78	帝国海事協会特別会員徽章授与状	1	明治39年 (1906)2月15日	24. 6*33. 3	帝国海事協会総裁 大勲位功四級 威仁親王→喜多孫八。 帝国義勇艦隊建設義金の拠出により特別会員に列し、徽章を贈与された。
79	日露戦争凱旋記念品贈呈状	1	明治39年 (1906)12月	25. 8*35. 9	富山県高岡市凱旋祝賀会代表者 堀二作→喜多常吉。常吉(明治15年11月11日～明治42年10月8日)は孫八（栄次郎）の弟。 日露戦争で任務を完了して凱旋したことを祝し、銀製紐環1組を贈呈された。
80	帝国軍人後援会賛助会員証	1	明治40年 (1907)4月13日	24. 0*30. 0	帝国軍人後援会会長 子爵 榎本武揚→喜多孫八。
81	大日本武徳会感謝状	1	明治43年 (1910)3月31日	27. 2*39. 1	大日本武徳会富山支部長 正五位勲四等 宇佐美勝夫→喜多孫八。 1円を寄付。
82	高岡消防義会感謝状	1	明治44年 (1911)11月26日	24. 3*32. 9	高岡消防義会長 富山県警視 従七位勲七等 瀧武二郎→喜多孫八。 多額の義金拠出により。
83	高岡消防義会名誉会員推薦状	1	明治44年 (1911)11月26日	24. 4*33. 2	高岡消防義会長 従七位勲七等 瀧武二郎→喜多孫八。
84	高岡市貧民に金施与につき感謝状	1	大正2年(1913)2月1日	22. 8*31. 1	富山県知事 正五位勲四等 濱田恆之助→高岡市横田町 喜多孫八。 80円を寄付し、木杯1個を下賜される。前年9月23日に大暴風雨のため、富山・高岡・伏木で死者4名、負傷者35人、家屋69棟全壊などの被害があった。
85	射水神社神楽殿建築事業への功労につき感謝状	1	大正9年 (1920)10月17日	26. 7*38. 3	御大典記念国幣中社射水神社献楽会総裁 従四位勲四等 東園基光等4名→喜多孫八。
86	大日本武徳会高岡分会特別会員推薦状	1	大正14年 (1925)11月15日	27. 0*39. 0	大日本武徳会富山支部 高岡分会長 正八位 船崎久一→喜多孫八。 50円寄付により、高岡分会の特別会員に推薦されたもの。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
87	関東大震災救援の為金寄付につき褒状	1	昭和5年(1930)9月1日	27.4*36.9	富山県知事 正五位勲四等 山中恒三→高岡市横田町 喜多孫八。 100円を寄付。関東大震災は大正12年9月1日に、関東全域と静岡県・山梨県の一部を襲った大地震による災害。震源地は相模湾。マグニチュード7.9。死者・行方不明14万、家屋焼失45万、全壊13万。
88	有磯神社社殿造営委員として尽力につき感謝状	1	昭和10年(1935)5月31日	26.8*39.1	中宗従五位下藤原朝臣丹波守正孝第16世裔郷社有磯神社々司 上田正登世→喜多孫八。 紀元2595年は昭和10年。
89	帝国軍人後援会通常会員証	1	昭和11年(1936)10月10日	25.8*33.2	帝国軍人後援会総裁 大勲位功二級 載仁親王・会長 正二位勲一等伯爵 清浦奎吾→喜多孫八。
90	華道未生流伝書伝授及斎号付与状	1	明治17年(1884)夏	38.5*51.4	家元後見 廣誠斎源甫→喜多孫八。 『華術三才之巻』(初伝)、『華術體用相應之巻』(中伝)、『華術原一旋轉之巻』(奥伝)の3巻(いずれも2代未生斎上田廣甫著)を伝授され、斎号を付与されている。 未生流(みしょうりゅう)は寛政期に未生斎一甫(山村山碩)が創流した華道の流派。源甫(1811~93。姓は肥原)は3代と4代を後見して明治初～中期の華道衰退期に統脈を維持し、未生流の振興を図った。死後、未生斎を追諡して5世家元とされた。
91	華道未生流伝書伝授状	1	明治17年(1884)夏	38.5*50.7	家元後見 廣誠斎源甫→喜多孫八。 『華術草木養之巻』(郡会頭)、『華術規矩之巻』(国会頭)の2巻(どちらも2代未生斎上田廣甫著)を伝授される。また、国会頭(師範に次ぐ階級)に昇格している。
92	華道未生流准総会頭師範代授与状	1	明治19年(1886)夏	39.1*51.9	家元後見・廣誠斎源甫→喜多孫八(華名:喜龍斎遊甫)。
93	高岡木材株式会社株券	3	明治31年(1898)11月10日	21.5*27.2	高岡木材株式会社社長 堀井仁右衛門等5名→株主 富田小七郎(のちに喜多孫八所有)。富田は同社取締役の1人。 5株100円。乙第43~45号。いずれも5回計75円払込済。 同社の「仮券状」とある。裏面に喜多孫八へ売渡した旨が記載されている。
94	株式会社高岡米穀外四品取引所株券	3	明治34年(1901)4月5日	20.0*27.2	株式会社高岡米穀外四品取引所理事長 高廣次平・理事 木津清太郎・理事 室崎間平→喜多孫八。 1株50円。第543・545・546号。
95	高岡紡績株式会社株券	2	明治34年(1901)6月1日	21.2*27.2	高岡紡績株式会社社長 荒井莊藏等4名→株主 喜多孫八。 1株30円。甲第496・497号。
96	高岡紡績株式会社株券	1	明治34年(1901)6月1日	21.2*27.2	高岡紡績株式会社社長 荒井莊藏等4名→株主 喜多孫八。 5株150円。乙第415号。
97	協銅組合株券	3	大正2年(1913)2月3日	22.8*29.2	協銅組合理事 喜多孫八等6名→組合員 喜多孫八。 5株250円。第50・52・53号。いずれも裏面に2回計62.5円の払込済印の押印あり。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
98	高岡製銑株式会社株券	2	大正6年 (1917)10月10日	18.5*25.7	高岡製銑株式会社取締役社長 鍋谷平二→株主 喜多孫八。 10株500円。甲第27・29号。どちらも125円払込済。
99	台湾電力株式会社株券	2	大正8年 (1919)11月1日	20.7*25.9	台湾電力株式会社社長 医学博士 高木友枝→株主 喜多孫八。 5株250円。乙第04236・04238号。どちらも4分割で全額払込済。
100	スマトラ産業株式会社株券	2	大正9年(1920)5月1日	20.9*27.1	スマトラ産業株式会社取締役社長 喜多権四郎→株主 喜多孫八。 10株500円。C第101・103号。どちらも10分割計275円のみ払込済。
101	南満洲鉄道株式会社株券	3	大正9年(1920)9月20日	19.1*24.2	南満洲鉄道株式会社総裁 仙石貢→株主 喜多孫八。 1株50円。〔ア〕No.16070・16071・16073。満鉄の第1次増資。
102	南満洲鉄道株式会社株券	2	大正9年(1920)9月20日	19.1*24.2	南満洲鉄道株式会社総裁 仙石貢→株主 喜多孫八。 10株500円。〔き〕No.071140・071141。満鉄の第1次増資。どちらも3分割で全額払込済。
103	南満洲鉄道株式会社株券	2	昭和8年 (1933)10月2日	19.0*24.1	南満洲鉄道株式会社総裁 林博太郎→株主 喜多孫八。 1株50円。〔甲〕No.067339・067340。満鉄の第2次増資。どちらも5分割で全額払込済。
104	南満洲鉄道株式会社株券	3	昭和8年 (1933)10月2日	19.2*24.3	南満洲鉄道株式会社総裁 林博太郎→株主 喜多孫八。 10株500円。〔乙〕No.166669～166671。満鉄の第2次増資。いずれも5分割で全額払込済。
105	南國産業株式会社株券	1	昭和12年 (1937)6月10日	20.3*26.9	南國産業株式会社専務取締役 中村第三→株主 喜多孫八。 1株50円。丙第1820号。全額払込済。
106	南國産業株式会社株券	1	昭和12年 (1937)7月20日	20.3*26.9	南國産業株式会社専務取締役 中村第三→株主 喜多孫八。 1株50円。は第654号。裏面に40円払込済の旨が記載されている。
107	南満洲鉄道株式会社株券	2	昭和15年 (1940)10月1日	19.1*24.4	南満洲鉄道株式会社総裁 大村卓一→株主 喜多孫八。 1株50円。〔子〕No.13541・13542。満鉄の第3次増資。どちらも10円のみ払込済。
108	南満洲鉄道株式会社株券	2	昭和15年 (1940)10月1日	19.2*26.4	南満洲鉄道株式会社総裁 大村卓一→株主 喜多孫八。 10株500円。〔寅〕No.184138・184139。満鉄の第3次増資。どちらも100円のみ払込済。
109	満洲重工業開発株式会社 丙種株券	1	昭和17年 (1942)4月15日	18.2*25.8	満洲重工業開発株式会社総裁 鮎川義介→株主 喜多孫八。 1株日本国通貨50円。り 29280。裏面に12.5円払込済の旨が記載されている。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
110	満洲重工業開発株式会社 丙種株券	2	昭和17年 (1942)4月15日	18.2*25.8	満洲重工業開発株式会社総裁 鮎川義介→株主 喜多健二。健二は孫八(栄次郎)の二男。 10株日本国通貨500円。ぬ 290397・290398。裏面に125円払込済の旨が記載されている。
111	台湾電力株式会社株券	2	昭和18年 (1943)7月1日	20.6*26.2	台湾電力株式会社社長 増田次郎→株主 喜多孫八。 1株50円。ト甲第1735・1737号。どちらも12.5円のみ払込済。
112	台湾電力株式会社株券	3	昭和18年 (1943)7月1日	20.5*26.2	台湾電力株式会社社長 増田次郎→株主 喜多孫八。 10株500円。ト丙第10539～10541号。いずれも125円のみ払込済。
113	品行善良・学業優等につき 1等賞状	1	明治40年 (1907)3月23日	27.1*39.0	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 宮崎久→第1学年生 喜多秀一。 秀一(明治32年6月1日～昭和2年12月6日)は孫八(栄次郎)と「いとゐ」の長男。大正9年9月6日に三箇とみと結婚。享年29。
114	尋常小学校第1学年修業 証書	1	明治40年 (1907)3月23日	25.6*36.2	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多秀一。
115	品行善良・学業優等につき 1等賞状	1	明治41年 (1908)3月24日	27.1*38.8	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 宮崎久→第2学年生 喜多秀一。 裏面に「高岡市横田町／国産銅器卸商 喜多商店」印が2ヶ所に押印されている。他に楕円印も捺されているが、判読不可。
116	尋常小学校第2学年修業 証書	1	明治41年 (1908)3月24日	26.4*36.0	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校→喜多秀一。
117	第4学年間の精勤につき 賞状	1	明治43年 (1910)3月24日	19.6*26.4	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 宮崎久→第4学年 喜多秀一。
118	品行善良・学業優等につき 1等賞状	1	明治43年 (1910)3月24日	25.5*35.7	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 宮崎久→第4学年生 喜多秀一。
119	尋常小学校第4学年修業 証書	1	明治43年 (1910)3月24日	25.6*35.8	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多秀一。
120	品行善良・学業優等につき 1等賞状	1	明治44年 (1911)3月24日	25.7*36.1	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 小林守直→第5学年生 喜多秀一。
121	尋常小学校第5学年修業 証書	1	明治44年 (1911)3月24日	25.6*36.0	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多秀一。
122	保育証書	1	大正4年(1915)3月20日	23.7*31.6	私立高岡幼稚園長 浅井秀玄→喜多信。 信(のぶ)は孫八(栄次郎)と「いとゐ」の長女。明治41年9月26日生。昭和2年6月1日に室崎間佐一(高岡市木舟町37)と結婚した。 2年間の保育証書。
123	尋常小学校第1学年修業 証書	1	大正5年(1916)3月24日	26.5*36.5	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多信。
124	品行善良・学業優等につき 3等賞状	1	大正6年(1917)3月24日	25.7*36.5	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 小林守直→第2学年生 喜多信。
125	尋常小学校第2学年修業 証書	1	大正6年(1917)3月24日	26.6*35.7	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多信。
126	品行善良・学業優等につき 3等賞状	1	大正7年(1918)3月23日	25.5*36.0	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 小林守直→第3学年生 喜多信。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
127	尋常小学校第3学年修業証書	1	大正7年(1918)3月23日	25.8*35.9	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多信。
128	尋常小学校第4学年修業証書	1	大正8年(1919)3月24日	25.8*35.6	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多信。
129	高等女学校卒業証書	1	大正14年 (1925)3月18日	30.0*39.0	富山県立高岡高等女学校長 正六位勲六等 熱海安吉→喜多信。 課程修業年限4箇年の履修証書。
130	尋常小学校第3学年修業証書	1	大正13年 (1924)3月22日	25.7*35.8	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多健二。 健二は孫八(栄次郎)の二男。大正4年1月7日生。
131	尋常小学校第5学年修業証書	1	大正15年 (1926)3月23日	25.7*35.4	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多健二。
132	第1学年間の精勤につき賞状	1	大正14年 (1925)3月23日	19.2*26.5	富山県高岡市横田町尋常小学校長 従七位 小林守直→喜多富。 富(とみ。戸籍では「富」)は孫八(栄次郎)の二女。大正6年12月14日生。
133	品行善良・学業優等につき3等賞状	1	大正14年 (1925)3月23日	25.5*35.7	富山県高岡市横田町尋常小学校長 従七位 小林守直→第1学年 喜多富。
134	尋常小学校第1学年修業証書	1	大正14年 (1925)3月23日	25.4*35.8	富山県高岡市横田町尋常小学校→喜多富。
135	品行善良・学業優等につき2等賞状	1	大正15年 (1926)3月23日	25.5*35.5	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 門島宗一郎→第2学年生 喜多富。
136	尋常小学校第2学年修業証書	1	大正15年 (1926)3月23日	25.7*35.5	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多富。
137	裁縫の成績佳良につき賞状	1	昭和3年 (1928)10月3日	18.8*26.8	大礼記念富山県小生成績品展覧会総裁 従四位勲三等 白根竹介→横田町小学校 喜多富。
138	品行善良・学業優等につき2等賞状	1	昭和4年(1929)3月22日	26.0*35.6	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 門島宗一郎→第5学年生 喜多富。
139	尋常小学校第5学年修業証書	1	昭和4年(1929)3月22日	25.9*35.8	富山県高岡市立横田町尋常小学校→喜多富。
140	品行善良・学業優等につき2等賞状	1	昭和5年(1930)3月22日	19.5*26.5	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 門島宗一郎→第6学年生 喜多富。
141	尋常小学校卒業証書	1	昭和5年(1930)3月22日	26.9*39.0	富山県高岡市立横田町尋常小学校長 門島宗一郎→喜多富。 裏面に「定期種痘完了(同校長印)」印が捺されている。
142	生花課程修了証	1	昭和9年(1934)3月16日	26.1*37.9	富山県立高岡高等女学校長 従五位勲六等 伊藤仙蔵→喜多富。
143	茶儀課程修了証	1	昭和9年(1934)3月16日	26.1*37.9	富山県立高岡高等女学校長 従五位勲六等 伊藤仙蔵→喜多富。
144	読方練習会成績優良につき賞状	1	昭和9年(1934)7月26日	13.2*19.1	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第1学年 喜多彰。 彰は昭和2年4月19日生で、のちに孫八を襲名する。
145	算術練習会成績優良につき賞状	1	昭和9年(1934)7月26日	13.3*19.2	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第1学年 喜多彰。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
146	100m第1等賞状	1	昭和9年(1934)9月27日	14.8*18.9	高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第1学年 喜多彰。
147	100m第3等賞状	1	昭和9年(1934)9月27日	14.8*18.9	高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第1学年 喜多彰。
148	算術・読方練習会成績優良につき賞状	1	昭和9年(1934)12月24日	13.3*18.5	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第1学年 喜多彰。 「孫八」を消して「彰」と書き直されている。
149	新年児童作品書道秀逸につき賞状	1	昭和10年(1935)1月1日	25.5*37.9	富山日報社→横田町校第1学年 キタアキラ。
150	品行善良・学業優等につき賞状	1	昭和10年(1935)3月23日	13.1*19.3	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 従七位勲八等 門島宗一郎→尋常科第1学年 喜多彰。
151	綴方練習会成績優良につき3等賞状	1	昭和10年(1935)3月23日	13.4*19.5	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第1学年 喜多彰。
152	尋常小学校第1学年修業証書	1	昭和10年(1935)3月23日	13.1*19.3	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校→喜多彰。
153	算術練習会成績優良につき賞状	1	昭和10年(1935)7月26日	13.5*19.4	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第2学年 喜多彰。
154	国語・算術練習会成績優良につき賞状	1	昭和10年(1935)12月24日	14.0*19.6	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第2学年 喜多彰。
155	新年児童作品図画秀逸につき賞状	1	昭和11年(1936)1月1日	25.5*37.8	富山日報社→高岡市立尋常高等横田小学校第2学年 喜多彰。
156	品行善良・学業優等につき賞状	1	昭和11年(1936)3月23日	13.5*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 従七位勲七等 門島宗一郎→尋常科第2学年 喜多孫八。 この孫八は、「孫八」を襲名した彰のこと。以降No.190まで同様に孫八＝彰である。
157	読方練習会成績優良につき賞状	1	昭和11年(1936)3月23日	14.1*19.5	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第2学年 喜多孫八。
158	綴方練習会成績優良につき賞状	1	昭和11年(1936)3月23日	14.1*19.6	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第2学年 喜多孫八。
159	尋常小学校第2学年修業証書	1	昭和11年(1936)3月23日	13.5*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校→喜多孫八。
160	読方練習会成績優良につき賞状	1	昭和11年(1936)7月25日	13.1*19.0	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第3学年 喜多孫八。 インク汚れあり。
161	算術練習会成績優良につき賞状	1	昭和11年(1936)7月25日	13.1*19.0	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第3学年 喜多孫八。
162	新年児童作品書方佳作につき賞状	1	昭和12年(1937)1月1日	25.7*38.9	富山日報社→横田校第3学年 喜多彰。
163	新年児童作品図画佳作につき賞状	1	昭和12年(1937)1月1日	25.9*38.1	富山日報社→横田校第3学年 喜多彰。
164	品行善良・学業優等につき賞状	1	昭和12年(1937)3月23日	13.3*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 正七位勲七等 門島宗一郎→尋常科第3学年 喜多孫八。
165	綴方練習会成績優良につき賞状	1	昭和12年(1937)3月23日	13.1*19.0	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第3学年 喜多孫八。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
166	尋常小学校第3学年修業証書	1	昭和12年 (1937)3月23日	13.5*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校→喜多孫八。
167	単脚レース第2等賞状	1	昭和12年 (1937)9月25日	15.3*19.6	高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第4学年 喜多彰。
168	400mリレー第3等賞状	1	昭和12年 (1937)9月25日	15.3*19.5	高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第4学年 喜多彰。
169	読方練習会成績優良につき賞状	1	昭和12年 (1937)12月24日	13.2*19.0	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第4学年 喜多彰。
170	品行善良・学業優等につき賞状	1	昭和13年 (1938)3月23日	13.4*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 正七位勲七等 門島宗一郎→尋常科第4学年 喜多孫八。
171	尋常小学校第4学年修業証書	1	昭和13年 (1938)3月23日	13.5*19.7	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校→喜多孫八。
172	規律の成績優良につき賞状	1	昭和13年(1938) 日8月7日	15.2*10.7	日本赤十字社富山支部 夏季児童保養所→喜多彰。
173	食事の成績優良につき賞状	1	昭和13年 (1938)8月8日	15.2*10.6	日本赤十字社富山支部 夏季児童保養所→喜多彰。
174	学習の成績優良につき賞状	1	昭和13年 (1938)8月9日	15.2*10.6	日本赤十字社富山支部 夏季児童保養所→喜多彰。
175	第2回市内小学児童書方展入選証	1	昭和13年 (1938)9月27日	13.6*19.6	新日本書道会高岡支部→喜多彰。
176	写生大会第2等賞状	1	昭和13年 (1938)11月21日	13.6*20.4	横田町尋常高等小学校研精校友会長 門島宗一郎→第5学年 喜多彰。
177	書初競書会佳作につき賞状	1	昭和14年 (1939)1月25日	13.8*20.4	横田町尋常高等小学校研精校友会長 門島宗一郎→第5学年 喜多彰。
178	算術練習会成績優良につき賞状	1	昭和14年 (1939)3月22日	13.2*19.3	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第5学年 喜多彰。
179	品行善良・学業優等につき賞状	1	昭和14年 (1939)3月23日	13.4*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 正七位勲七等 門島宗一郎→尋常科第5学年 喜多孫八。
180	尋常小学校第5学年修業証書	1	昭和14年 (1939)3月23日	13.3*19.6	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校→喜多孫八。
181	全日本健康優良児童表彰会富山地方審査会で県下小学校児童中最も健康優良につき表彰状	1	昭和14年 (1939)6月25日	25.0*33.8	全日本健康優良児童表彰会会長 緒方竹虎・富山地方審査会会長 矢野兼三→富山県高岡市横田町尋常高等小学校 喜多孫八。 主催：朝日新聞社、後援：文部省。
182	読方練習会成績優良につき賞状	1	昭和14年 (1939)7月26日	13.1*19.2	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第6学年 喜多彰。
183	夏休作品展覧会2等賞状	1	昭和14年 (1939)9月18日	13.8*20.4	横田町尋常高等小学校研精校友会長 門島宗一郎→第6学年 喜多彰。
184	100m第2等賞状	1	昭和14年 (1939)9月20日	15.0*18.9	高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第6学年 喜多彰。
185	糧食運搬第1等賞状	1	昭和14年 (1939)9月20日	15.0*18.8	高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第6学年 喜多彰。
186	マラソン会7等賞状	1	昭和14年 (1939)11月14日	13.7*20.4	横田町尋常高等小学校研精校友会長 門島宗一郎→第6学年 喜多彰。
187	読方・算術練習会成績優良につき賞状	1	昭和14年 (1939)12月23日	13.2*18.9	富山県高岡市横田町尋常高等小学校長 門島宗一郎→第6学年 喜多彰。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
188	品行善良・学業優等につき賞状	1	昭和15年 (1940)3月18日	13.3*19.5	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 正七位勲六等 門島宗一郎→尋常科第6学年 喜多孫八。
189	尋常小学校卒業証書	1	昭和15年 (1940)3月18日	19.3*26.9	富山県高岡市立横田町尋常高等小学校長 正七位勲六等 門島宗一郎→喜多孫八。 裏面に「定期種痘完了」印が捺されている。
190	中学校卒業証書	1	昭和20年 (1945)3月28日	22.2*31.0	富山県立高岡中学校長 従五位勲六等 菊池勘左エ門→喜多孫八。
191	『修訂女子国文新選六』	1	昭和4年(1929)3月20日	22.0*15.2	和本(181頁)。発行:星野書店。 裏表紙墨書「第三学年乙組/喜多富」。
192	『修訂女子国文新選七』	1	昭和4年(1929)3月20日	22.1*15.1	和本(185頁)。発行:星野書店。 裏表紙墨書「喜多富」。
193	教科書『いなかのいちにち』	1	昭和24年 (1949)5月10日	20.9*15.1	冊子(76頁)。発行:文部省。 裏表紙ペン書き「きたよしあき」。
194	新国語 三年 下『みどりの手旗』	1	昭和25年 (1950)9月18日	20.7*14.7	冊子(70頁)。発行:光村図書出版株式会社。 裏表紙ペン書き「三年白組/喜多芳明」。
195	戊申詔書(写)	1	明治41年 (1908)10月13日	27.4*38.9	明治天皇による詔書。日露戦争後の社会の乱れを是正し、国民の奢侈を戒め、一致団結することを諭している。 シミ、破れあり。
196	帰敬式受式章	1		直径1.7	真宗大谷派(東本願寺)の徽章。製作:まつだ光華堂。 裏面に「帰敬式受式章/真宗大谷派本願寺」とあり。紙箱あり。 帰敬式(ききょうしき)とは、「仏」「法」「僧」の三宝に帰依して仏弟子となり、生前に法名を授かる儀式。
197	阿弥陀三尊立像図	1		37.8*30.1	マクリ。木版刷。 化仏が付いた舟形光背を持ち、来迎引摺(いんじょう)印を結び、おそらく観音・勢至の二菩薩と共に台上に立つ阿弥陀如来図。手前には寄進者であろう夫婦も描かれている。
198	懷中六字名号	1	明治20年(1887)頃	本紙10.2*5.2 全体11.6*17.3	書:厳如(ごんにょ)。厳如(1817~94)は東本願寺第21代法主。名は大谷光勝。 木版刷「南無阿弥陀佛/釈釋厳如七十叟書(印)」。刺繍の三つ折り台紙に貼付されている。
199	『安心問答』(写)	1	明治期カ	24.5*18.1	縦帳(6丁)。 表紙墨書「安心問答(ルビ:アンジンモント)/横田町 喜多孫八」。 冒頭に「明治十年也」とある。本願寺大谷新御法主が松前下向の道中に高崎市之助(道悟)と行った問答の記録。
200	散華	9	昭和23年(1948)	—	9枚(6種)。包紙「蓮如上人四百五十回忌法要記念/御葩(おはな)/正音寺」あり。 散華とは蓮の花びらの形をした紙で、法会で偈(げ)を唱えながら列を作って歩き、撒き散らすもの。 正音寺は不明だが、広島県山県郡安芸太田町中筒賀井仁に同名の真宗寺院がある。

No.	資料名称	点数	年代	寸法 (縦*横, cm)	備考
201	引札「高岡市鴨島町 薬種御商・薬剤師 渡邊政太郎」	1	大正8年(1919)	26.8*69.1	「五大博士証明の婦人薬」一覧と薬価が掲載されている。大正9年略暦あり。 スタンプ「高岡市御旅屋町／□□□酒有名 売薬商／□岡清太郎／□…□」の押印あり。 裏面墨書「口蓋／到着／販売シマス／高岡市御旅屋町」。 左上角欠損。
202	広告料請求書	1	明治37年 (1904)5月20日	11.7*11.0	北陸新聞社→平島松太郎。
203	新聞料領収証	1	明治39年 (1906)3月2日	13.9*13.2	株式会社高岡新報社→堀井栄平。
204	見積書	1	明治40年 (1907)12月27日	27.4*19.7	用紙綴(5丁)。 高岡市木町 炭本五平→大野。 炭本五平は材木商。炭本商店の様式を使用している。 大野は不明だが、孫八(栄次郎)妻「いとゐ」の父は大野太作である。
205	高岡魚商組合員之証	1	明治44年 (1911)9月27日	19.5*27.1	高岡魚商組合組長 米納嘉右衛門→橘與三。
206	火災保険証券	1	昭和13年 (1938)5月17日	24.2*31.2	東洋火災保険株式会社大阪支店支配人 伊藤善記→紺谷外次郎。 所在地：射水郡伏木町古国府浜87-2番地。
207	高岡ステンレス顧問招聘状	1	昭和13年 (1938)12月	28.0*39.0	高岡ステンレス株式会社→小牧政之助。
208	火災保険証券	1	昭和14年 (1939)11月27日	20.9*29.6	太平洋海上火災保険株式会社京都支店長 岡村家隆→梶原太四郎。 所在地：高岡市上栄町47番地。

計 239 点